



# 進 交 会 報



**【進交会報第83号の送付について】**

第82号紙面で今年度は会費未納者に進交会報を送付しない旨を記載しておりましたが、第83号は進交会館の建替え計画をお知らせするため、全ての会員に進交会報を送付することとしました。

次号からは経費削減のため、会費未納者には送付しない方向で検討しております。

会費未納者の方々には、この機会に是非会費の納入にご協力をお願いします。

会費の納入について、不明の方は進交会事務局（TEL〇四五―六八―六五七五）迄ご連絡ください。

なお、進交会報は「進交会ホームページ」にも掲載します。

年会費… 三,〇〇〇円、  
終身会費… 三〇,〇〇〇円

**【目次】**

理事長・学長・校長挨拶 二  
進交会館建て替え 三  
夢は叶う 四  
日本一速い女子高生ライダー 五  
支部だより 六  
Y専・市大同期会だより 八  
市大だより 九  
市大活動だより 一三  
Y校だより 一五  
Y校活動だより・同期会だより 一七  
Y校OB会だより 二〇  
Y校活動報告 二一  
進交会だより 二二  
訃報、編集後記 二四

## 発行所 一般社団法人 進交会

〒 231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111

メールアドレス [shinkoukai@nifty.com](mailto:shinkoukai@nifty.com)

電話 045-681-6575 FAX 045-681-6585

ホームページ <http://shinkoukai-web.jp/>

# 進交会理事長就任にあたり

一般社団法人進交会 理事長 古屋 文雄



会員の皆様には、いつも進交会事業にご協力、ご支援を頂いており、厚く御礼申し上げます。この度私古屋文雄は平成29年度から秋谷浄恵氏の後任として進交会理事長に就任しました。秋谷前理事長同様宜しくお願いいたします。

私は秋谷前理事長が力強く進めてこられた進交会の活性化を引き続き強力に進めてまいりたいと考えています。

進交会は平成28年度に大きな決断をしました。

それは進交会館の建て替えです。会員の皆様もご承知の事と思えますが、現進交会館は昭和48年に竣工しました。

竣工当初は近代的な8階建てのビルでしたが、40数年経った今となつては、設備が老朽化し、修繕費用も近年益々多額になってきています。更に昭和56年に耐震基準が強化されましたが、資金難での対応が出来ず、現在に至っています。

実は平成27年12月から進交会の懸案に対して特別委員会を立ち上げ、1年4ヶ月に渡って検討を重ねてまいりました。結論として、平成28年度第4回理事会で「進交会館の建て替え」を決議し、更に社員総会への報告を済ませまして、今回進交会館の建て替えを実施する事としました。

なお方針は決まりましたが、この事業を完遂する為の課題は山積しております。

現在テナントの退去や進交会館利用団体への協力をお願い等々、関係各位へ様々なお願いを実施しているところです。

会員の皆様におかれましては2年後の「新進交会館の完成」に向けてご期待を頂くと共に、絶大なるご支援とご協力を要請したいと思っております。

「新進交会館の完成」までの約2年間、進交会は母校に仮事務所を置き、同窓会として最低限の活動をする事になります。

この間の進交会としての広報は進交会ホームページと進交会報でお知らせしていきます。進交会会員の皆様には暫く大変なご不便をお掛けしますが、事情ご賢察の上、ご理解を宜しくお願いいたします。

# 2018年4月 首都圏初のデータサイエンス学部誕生

横浜市立大学学長 窪田 吉信



学生が英語によるプレゼンテーション力を競う「全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」(主催：神田外語グループ、読売新聞社)の2016年開催(第5回)において、横浜市立

大学の佐藤 圭さん(国際総合科学部 国際教養学系4年)が最優秀賞(文部科学大臣賞)に選ばれました。2012年から始まったこのコンテストで本学の学生が2回にわたってその栄冠に輝いたことは大変誇らしく、本学の特色の一つである実用英語教育(Practical English)の成果の表れと受け止めています。ちなみに、2014年開催(第3回)においては太田 杏奈さん(Y校出身、現在、国際総合科学部国際教養学系4年)が受賞しました。本学は全国に先駆けて文理融合型の国際総合科学部を設置し、社会のグローバル化に

# Y校の歴史と近況報告

横浜商業高等学校校長 長田 正剛



平成27年11月、横浜市の新市庁舎整備予定地から、明治30年に建てられました本校の旧校舎の遺構が発掘されました。平成28年度にこの遺構にふさわしい名称を全校生徒に呼びかけたところ、「誠の礎」と命名されました。現在は正門に案内板が設置され、Y校の歴史を物語るよう展示されています。卒業生の皆様には是非一度ご覧願えればと思います。

開校136年目を迎えましたY校は卒業生の皆様から温かいご支援を頂き、生徒一人ひとりが元気に学校生活を送っています。改めて進交会並びにY校会の皆様へ深く感謝申し上げます。また横浜市立大学の先生方にも、特別講義、研究発表に對する講評などのご指導頂き、高大連携事業において大変お世話になっております。本校生徒の教

応して自ら課題を見つけ、解決方法を提案し、また自ら発信できる人材の育成という大きな目標に向かつて取り組んでまいりました。その取組の成果が各方面で形となって見えてきています。2018年4月には首都圏初のデータサイエンス学部を立ち上げます。近年、社会の様々な分野で急速に蓄積が進んでいるビッグデータやAI(人工知能)の利用を推進することは時代の要請とも言えます。医学、理学、経済学など多様な応用分野を持ち、文理融合型の教養教育を実践してきた強みを生かしてデータから新たな価値を創造する人材の育成に乗り出します。

来年(2018年)はY専の創設から数えて90周年を迎え、次のステージに向けて前進します。進交会の皆様におかれましては今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

育活動についても高い評価を頂き、重ねて御礼申し上げます。スポーツマネジメント科は開設4年目を迎える春初めての卒業生を輩出しました。スポーツや健康分野におけるビジネスの振興発展が期待されます。国際学科では豊富な学習型国際交流行事を通して自立した国際人の卵を育成しています。商業科では資格・検定の取得や実践的な学習を通して将来のスペシャリストを養成するとともに高度な授業で大学への進学を目指したレベルの高い学びを展開しております。地域の皆様からも愛され続けるY校は、感謝の意味もこめて地域への貢献活動を行っています。今後も次代を担う人づくりに努めてまいります。どうぞ今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

進交会館を建て替えます



(完成予想図)

平成28年度第4回理事会において、現「進交会館」を解体し、新「進交会館」の建設を理事全員の賛成の下、決議しました。

現進交会館は昭和48年（1973年）に建築され、今年で満44年が経過します。2011年3月の東日本大震災で大きなダメージを受け、更に急激な老朽化が進行中です。現進交会館は政府・横浜市からの「耐震改修の促進について」の要請にも対応できておらず、積年の課題になっておりました。

今回平成27年度の期中から発足した特別委員会で十分な時間を掛けて集中した議論を重ねた結果、現「進交会館」の解体、新「進交会館」の建設に踏み切りました。これはひとえに「持続可能な進交会」として、進交会を継続・発展させるためであります。

2年前、現「進交会館」を何とか利用し続ける為に、「進交会館リニューアル募金」のお願いをしましたが、政府・横浜市からの耐震補強へのプレッシャーが強くなり、更に想像以上の老朽化と言う現実直面し、現進交会館を維持し続ける事は難しいとの結論に至りました。

新「進交会館」が完成するのはほぼ2年後になりますが、この新ビルの誕生を契機にして、更に進交会活動を発展させていきたいと考えております。

なお、この新ビルには26戸の1DK賃貸マンションが併設される予定です。

現「進交会館」では6社にテナントに入居していただき、その収益に頼って同窓会活動を充実させてきました。しかしながら、テナントが退出してしまうとテナントを埋めることが大変で、以前から苦勞してきました。今回はサブリース制度を利用することによって、永年の夢が叶う予定です。又今回の建設資金は全額借入する予定ですが、後輩たちが悩まないで済むように、計画的な維持管理が期待されます。

進交会会員の皆様全員が今回の取り組みを支え、新「進交会館」の完成に期待していただけましたら、これにすぐる喜びはありません。

「みなと倶楽部」一時休業のお知らせ  
新「進交会館」建替え期間中、「みなと倶楽部」は休業します。完成後は新「みなと倶楽部（仮称）」の設置を予定していますが、今まで以上に利用し易い「卒業生の交流の場」にしたいと考えています。

【休業期間】  
平成30年1月～平成31年10月

進交会館建替え期間中は左記の仮事務所まで進交会業務を予定しています。  
〒232-0006  
横浜市南区南太田二一三〇一  
横浜市立横浜商業高等学校  
教育支援センター内  
電話（未定）

【建物の概要（案）】

建物構造	鉄筋コンクリート造 9階建 賃貸住宅 26戸 店舗・事務所 3区画 (1F) テナント (2F) 進交会会議室・みなと倶楽部 (3F) 進交会事務所・賃貸住宅(2戸) (4F~9F) 賃貸住宅(24戸)
建築面積	193.51㎡(58.54坪) 延床面積 1,306.93㎡(395.07坪)
所要事業資金	516,000,000円
資金調達	(資金) 住宅金融支援機構 (保証) 財団法人 首都圏不燃建築公社 (返済) 35年間 固定金利
工事スケジュール	解体工事 2018年 1月(予定) 竣 工 2019年10月

【建替えに至った経緯】

老朽化	進交会館は昭和48年に竣工し築44年目を迎え要修理箇所が増加し、本年になり更に緊急対応の必要な箇所が続発している。
耐震対策	新耐震基準を満たしておらず新テナント募集が困難である。
テナントの退出	本年になりテナントの退出が続き、残るのは2テナントのみとなる。新テナントを募集するためには高額な補修工事資金が必要となる。
課題検討	1. 現状維持案 高額耐震補強工事費用が必要となる。
	2. 等価交換案 交換後の収益が少なく、活動資金が不足する。土地の持分が減少する。
	3. 売却案 進交会館がなくなる事は会員の理解が得られない。同窓会収入だけの進交会運営は困難であり、売却による譲渡所得は年々減少し同窓会事業を存続できない。
	4. 建替え案 同窓会収入だけの進交会運営は困難であり、賃貸・テナント収入が不可欠である。

# 夢は叶う

原口 淳 (市大商昭54卒)  
コニカミノルタジャパン(株) 代表取締役社長



夢を持つ人生は豊かだ。そして、夢に向かって行動を起こす人が道を切り開く。とは言え、人生における実現可能な選択肢はそれ程多くはない。何を選び、何を捨てるか、人生は決断の連続。振り返れば実に多くの失敗をしてきたものだ。それでも、もう一度人生をやり直したいとは思わない。力を尽くしての失敗であり、悔いはない。

私は焼き物の里、伊万里で生まれ、基地の街、佐世保で育ちました。佐世保は元々軍港であり、今でも海上自衛隊の基地と米軍基地があります。他界した父は

太平洋戦争に2度も招集され、戦争中に両親は亡くなり、多くの戦友も失いました。その過酷な体験を乗り越え、家族を持つしあわせを経験出来たことが何よりの救いだった様です。晩年、私が米国販社の社長に就任した時、万感の思いからか涙で祝ってくれたことが忘れられません。自分たちが鉄砲担いで戦い、そして敗れたアメリカという大国に、息子が現地法人の社長として活躍しているという事に、何を思ったのか。日本の復興とGlobal化という時代の変化、そして自分が若い頃出来なかった自由で夢のある生き方を私に見てくれたのなら嬉しく思います。私は1979年にカメラ、フィルムメーカーだった小西写真工業に入社し、当時は新規事業であった複写機部門に配属され、海外営業畑でキャリアを積みましました。30歳で欧州(ドイツ、イタリア)に駐在し、40〜55歳は米国と通算20年を海外勤務しました。その間、一緒に付き合ってくれた家族、特に妻の苦労は私の比ではないと感謝しています。



米国販社社長時代、Blues Brothers Bandのステージに飛び入り参加。

米国駐在中にコニカとミノルタが合併し、コニカミノルタになり、私は2005年に米国統合販社の社長に就任しました。従業員規模は8000人と本社より大きく、責任も重いものでした。

2008年のリーマンショックの時は、モノが売れなくなり巨額の赤字に苦しみ、断腸の思いで1000人規模のレイオフを断行し、V字回復で乗り切ることが出来ました。海外駐在中はチュルノブイリ原発事故、ベルリンの壁崩壊、9.11、リーマンショックを身近に体感しました。海外のあちこちに友人が出来、いまだに付き合いが続いています。

横浜市大に進学し、横浜港を歩きかう船を見ては海外への憧憬が募り、Globalビジネスに従事するという決意をし、実現出来ました。またもうひとつの夢だった、ロックミュージシャンとしてのデビューも、米国販社社長就任時に、取引先1500名を招待したパーティーでプロのバンドに飛び入りし、ギターを弾き唄う事で夢が叶いました。

それ以来、米国では“CEO=Chief Entertainment Officer”と呼ばれています。私たちの子供や孫の時代もGlobalレベルで友好が深まり、平和であることが祈ります。



横浜市大学生寮で麻雀に没頭。(右端が筆者)

# ONWARD

Tel. 0120 586 300 www.onward.co.jp



## 日本一速い女子高校生ライダー

岡崎 静夏 (Y平23卒)



## ―ライダーになる迄の経緯

私が初めてレースに参加したのは、小学5年生の頃でした。私には、バイクレース、車レースが好きな両親がいます。あるとき、父が屋根裏部屋にしまっていたポケットバイク（子供用のバイク）を3歳下の弟が見つけ、空き地で乗り始めました。私は弟へのライバル心からポケバイに乗り、レースに参加しました。小学5年生でバイクという早いように感じますが、ポケバイは3歳から乗り始める子も多く、私の先輩は、みんな年下でした。弟と0.01秒というタイムを縮

めるために競ったり、友達という名のライバルとバトルをしたりすることが楽しかったです。

そんなレースの魅力に惹かれ、弟と共にポケバイからミニバイク、ロードレースとステップアップし、私はライダーとして、弟はメカニックとしてプロのレースの世界にいます。

―日本一速い女子高校生ライダーとして注目を集めたY校生時代

ミニバイクを卒業し、MFJロードレースアカデミー（レーシングスクール）に入校しました。そこでは、レースの技術や先輩・大人への接し方など様々な事を教わり、アカデミーを卒業しました。

Y校1年生の時、MFJレディースロードレースに参加を開始しました。レース参戦のために、入学してすぐにアルバイトを始め、バイクを購入しました。アルバイトをしても、レース参戦のための費用を全部は払えないので、この時も両親や祖母に大部分を協力してもらっていました。このレディースロードレースでは、元世界チャンピオンの坂田和人さんとレジエンドレディースライダーの井形ともさん、ロードレースアカデミー校長の五百部徳雄さんから、厳しく丁寧にアドバイスを頂ける講習会も行われます。そのアドバイスをあり、私は連勝し、チャンピオンを獲得することが出来ました。そして日本一速い女子高校生として、様々

なメディアに取り上げて頂けるようになりました。マイナーなこのモータースポーツが少しでも盛り上げれば嬉しいなと思います。

レディースロードレースで2年連続チャンピオンを獲得し、全日本ロードレース選手権GP（Primo）（250ccクラス）入門）クラスにステップアップしました。このクラスからは男女区別はなく、ハンデもなく、対等に男性と戦うことになりましたが、男性と戦えるスポーツが面白く、レースがさらに好きになりました。

―喜怒哀楽苦労話など

男性と戦えるスポーツとはいつでも、男女の筋力や体力には差があるのはたしかです。しかしその事を考えてトレーニングをすれば、補える方法はあると思います。トレーニング方法も効率を考えました。そして、今、私が参戦しているJGPR（250ccクラス）クラスにおいては、男女には違いがあるけれど、それは差ではないと私は確信をもって戦っています。

―これからの目標

まずは今参戦しているJGPRクラスで表彰台に乗り、優勝することが目標です。自己最高位は6位ですが、表彰台の順位が近づくにつれて、どんどん難しくなってきたように感じます。

私はプロとしてバイクレースをしています。レース資金を稼ぐために毎日仕事もしています。多くのライダーがそうですが、この現状を打破し、メジャーなスポーツにしたいというのが目標です。昨年は、全日本ロードレースの



前半戦の成績ランキングにより、ロードレース世界選手権シリーズの日本グランプリに参戦することが出来ました。日本人女性ライダーとしての参戦は井形ともさん以来21年振りということで、このときも多くの方に注目して頂きました。私が女性だからという特別扱いでこの世界選手権に参戦したわけではありませんが、女性ならではの話題性が盛り上がり、レース界だけでなく、レースを知らなかった多くの方にも、レースを知って頂くきっかけになれていれば嬉しいです。初の世界戦は惨敗でしたが、自分の技術も考え方も大きく変わりました。まだまだ全然技術も足りないと感じられました。今年前半戦の成績が奮わず、世界選手権参戦は厳しそうですが、来年また世界選手権参戦を目標に、今度こそは世界のライダーと戦いたいと思っています。

レースを戦うのは1人のようで、チームがあつてこそ。コハラレーシングの小原監督をはじめ、チームメカニックの皆様、担当メカニックの弟、心強いヘルパーの両親、応援してくださるスポンサーの皆様、魅せる走りをして、優勝したいです。

# 支部だより

## ◇宮城支部

支部長 吉田 格（市大商昭41卒）

平成28年度例会は前年と異なる仙台駅近辺の居酒屋「かこいや」で11月5日（土）開催しました。今年度の例会は会員10名本部事務局より佐藤事務局長（昭47商）、更に秋田在中の斉藤喜一氏（昭47商）にゲスト参加いただき和やかな雰囲気での開催となりました。支部長の開会の挨拶の後、白土氏（昭47商）が乾杯の発声を行い歓談の時間を過ごしました。佐藤本部事務局長は昨年より就任された由、自己紹介を兼ね進交会本部の会館利用実態、更に会館維持の問題点など詳しくお話しされ会員一同新たな認識を得ることができました。



今年度の例会は小笠原氏（昭47商）も出席しており、偶然にも同期会を兼ねた例会となり、歓談が時間の過ぎるのを忘れ続けました。

また世界大学ランキングの話題になり文系、理系を合わせた学生数の少ない国内総合大学でNO1の評価をえていることなど、卒業以来あまり大学の情報が入らない状況で、母校の活躍に耳を傾けていました。

今回、都合で出席出来なかった方も、次回は参加して報告してくれるそうです。平成29年度例会も例年通り11月に開催

の予定です。

事務局長 吉田 郁（市大商昭59卒）

電話0223096845

携帯08055770191。

## ◇近畿進交会

会長 植田 美夫（市大商昭34卒）

一、平成28年度の「近畿進交会の集い」は11月12日（土）大阪城を眼下に見下ろす大阪ビジネスパーク内パノラマレストランアサヒにて成松副理事長・佐藤事務局長ご来席の下、家族会員を含めて53名の会員が集まり開催されました。今回初めて市大広報室小林室長・山崎卒業生担当が出席され、市大の近況についてお伺いすることが出来ました。



懇親会は例年同様和やかに進み、青柳氏の漫談や抽選会もあり大変盛り上がりた集いとなりました。

一、平成29年度の「近畿進交会の集い」は既に機関紙「しんこう」に掲載通り、11月25日（土）キャッスルホテル大阪（天満橋）にて開催する予定です。

一、機関紙「しんこう」は本年2回発行予定で全会員に配布し、進交会ホームページにも掲載します。  
一、ゴルフ・テニス同好会は年2回春秋に開催、その他「平成卒の会」を開催すると共に「近畿進交会の集い」には還暦を迎えられた方及び新入会員（新卒者）の方をお招きする予定です。

一、役員の変動（5月25日幹事会で決定）  
辞任 原 洋志副会長・  
出射靖副会長

新任 中原悠司副会長（市大商昭39卒）

麻野広行副会長（市大商昭50卒）

事務局 森岡 章（市大商昭46卒）

〒610031

京田辺市草内山科39-6

TEL (0774) 653069

## ◇北海道支部

支部長 吉田 嗣博（市大商昭57卒）

8月に4つの台風が来襲した北海道、甚大な被害が癒えぬ中11月26日北海道支部例会をセンチロイヤルホテルで開催しました。参加者は17名、今回は進交会から佐藤事務局長、市大から小林広報室長をお迎えしました。両氏からは進交会館の建替え計画や、市大の知名度アップに向けた取り組みなどが報告されました。

懇親会では来年少白寿を迎える松原さんによる恒例の「知って嬉しい話題のあれこれ」コーナーでは、北海道の名づけ親は？そしてその出身地は？との問題が出されました。道民には常識ですがゲストの皆さんにはちよつと難題だった

かも知れませんが、近況報告に移りギックリ腰や脳梗塞、肺炎など疾病が数多く報告され、高齢化の波が北海道支部にも確実に寄せています。



現在の会員数は新たに6名が加わり計104名、お陰様で減少傾向に歯止めをかけることができました。北海道で縁のある方をご存知でしたら、事務局にご連絡お願いいたします。なお、次回は11月25日（土）、センチロイヤルホテルで開催予定しておりますので、奮ってご参加ください。

事務局 石岡 至信（市大商昭60卒）

〒0040874

札幌市清田区平岡4条6丁目3-1

☎0118863870

## ◇千葉支部

中山で競馬と花見

今回は「楽しかった遊び」のご報告です。場所は我が支部の地元、日本中央競馬会\*中山競馬場。時は平成29年4月9日の日曜日。その日は桜満開（の筈）の日でしたが当日は残念ながら小雨模様。それでも遠くに雨に煙る桜を見るのもオツナモノ。

集うは進交会・千葉支部の面々とそのご家族、とある方の小さな4歳のお孫さんから？歳の大先輩まで老若男女の総勢28名と多士済々。会場は普段は入れない「貴賓室」の借り切り、特別手配の料理と飲み放題のお酒。ガラス戸越しに競馬の大歓声を聞きながら、あるいはペランダで競馬を楽しみながら何とも豪華な雰囲気の日どきでした。

千葉支部のメンバーの中にかつて



中央競馬会の重鎮だった先輩が居られ、その方の心づくしのお差配での開催でした。

競馬は初めての人、何度も通って来るたびに苦い酒を飲まざるを得なかった人など様々でしたが、競馬は二の次にして豪華な雰囲気ではイギリスの貴族の気分を味わったりすることも出来、皆さん大満足で終わることが出来た春の椿事に近い話でした。

毎年の如くに、母校訪問やら横浜探索やらと続けている千葉支部の小さな楽しみ、来年は何をやりましょうか？と昨年の支部総会の場でのちよっとした会話がもとの今回の計画。予想以上の楽しさと珍しさで好評の後を受け今回の計画が又大変になりました。

文責・千葉支部\*  
小林伸也（市大商昭42卒）

◆名古屋支部

【開催日変更のお知らせ】  
次回の名古屋支部同窓会は『平成30年10月13日』に開催します。例年7月に開催してきましたが、酷暑期を避けた時期に変更します。



平成29年度の同窓会を7月8日、アイリス愛知にて古屋進交会本部理事長、佐藤同事務局長の臨席のもと、盛会に開催しました。今年度は、岩崎学教授をお迎えし、来春開設予定のデ

ータサイエンス学部の概要と教育・研究分野について講演いただきました。先生の親しみある語りかけによって、新しい研究分野への理解を深めるとともに、他校に先駆けて学部を開設する母校の先進性や躍動感を、聴講者全員で共感しました。

その後、レストランに場所を移し、ピアノとバイオリンの生演奏が奏でられる中、古屋理事長・佐藤事務局長から進交会本部や大学の近況報告を受けるとともに、年代を超えた同窓生相互の交流を深めることができました。会の終盤には、出席者全員で校歌を斉唱し、「名古屋ナモ縮め」で場を引き締め、会の結束を確認しました。

名古屋支部では、同窓会の一層の盛り上げに向け、若手参加者の増加に知恵を絞っており、今年度は平成以降の卒業生に6名参加いただきました。次回はより多くの方に参加いただけるよう、酷暑期を避け、平成30年10月13日に開催します。愛知県近郊にお住まいの同窓生の皆さんのご参加をお待ちしています。

事務局 アスカ(榊竹之内敏昭) 〒4480002  
愛知県刈谷市一里山町東吹戸11  
0566367771  
E-mail:shinkoukaikai@aska.co.jp

◆北陸支部

小林 雅恵（市大文理昭54卒）  
平成28年度総会は11月19日（土）17時より「ガーデンホテル金沢」にて、進交会事務局より佐藤氏、市大広報室より室長の小林氏、卒業生担当の芥川氏

にご来席いただき、20名の会員が集まり開催されました。

初めに佐藤氏より進交会館を利用する同窓生の様子を交えて、進交会についてお話いただき、引き続き小林氏からヨコハマから世界へ、グローバルに活躍する学生の育成を目指す現在の市大について、学部紹介や講義や部活動に熱心に取り組む学生の様子など、映像を用いて説明していただきました。金沢八景駅からキャンパスに続く道、すっかり新しくなった校内の風景に昔を懐かしく思い出すと同時に母校のさらなる発展を全員が願いました。



その後、懇親会では会員が近況を報告し合い、校歌を歌い来年の再会を確認し楽しく有意義な時間を過ごしました。なお今年の総会は11月11日（土）に開催します。今回は現役市大生で2016・2017年ヨーロッパ世界チャンピオン（二連覇）の『高田柊』さんをお招きし、華麗な演技の数々を披露していただき、多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。

連絡先 小林雅恵  
〒9200015  
金沢市諸江町上丁5922  
TEL 0762225235  
E-mail kobamasasa2011517@yahoo.co.jp

◆Y校東海道会

佐藤 堯子（Y72期昭34卒）

第31回Y校東海道会が、去る4月9日湘南クリスタルホテルで行なわれました。恒例の記念撮影の後、岡本様（72期）の司会で、先ずは、会長の石田様（67期）の開会の辞、次いで、大木様（63期）による乾杯、矢部様（72期）による出欠状況報告と続き、その後、小一時間、隣の間人同志の歓談の時間が設けられました。この新工夫が功を奏して、その後の参加者全員によるスピーチが、それぞれ滞りなく和やかに続けられました。

そして、はからずも、来賓の出原相談役から進交会の財政危機を寄付で何とか切り抜けようと努力された時期があり、出原様は事務局局長時代（昭和5年Y校卒の中山好三郎様からの）、3,000万円の大口寄付が特にありがたかったとのことでした。

新入会員の谷津章一様（73期）は、ご自身のプロフィールを簡潔にさらりとまとめたスピーチでした。他には仏教コーラスのCDの披露もありました。

大木様（63期）に始まり石田様が締めくくった12人のスピーチも和やかに過ぎ、第31回Y校東海道会は、応援団員だった宮代様（72期）と当ホテル勤務の井上様（110期）のお二方によるエールと校歌でめでたくお開きとなりました。



前列（敬称略）  
谷津章一 73期  
佐藤公紀 進交会事務局長  
出原基次 進交会相談役  
石田靖幸 72期  
大木和道 72期  
岩田全弘 72期  
水村元行 72期  
後列（敬称略）  
岡本長光 72期  
宮代任浩 72期  
佐藤和郎 72期  
佐藤堯子 72期  
大木三郎 72期

### Y専同期会だより

#### ◆Y専第20期同期会

幹事 鳥居 忠雄 (Y専昭24卒)

平成28年11月16日にY専第20期の同窓会が横浜プラザ・ホテルで9名の出席のもと行われました。卒業時に130名の内72名の方が鬼籍に入られています。この方々の冥福を祈り黙祷した後に会が開かれました。

まず大木幹事により会計報告がなされ、三井幹事の乾杯と開会の挨拶の後食事、懇談になりました。自己紹介では宇山君の勲章授与の裏話として戯曲春秋の雑誌に掲載された「木が泣いている」と言う2幕6場の3年にわたる執筆努力が認められたのではないかと話がありました。三井君から中国の青島中学より50名の学生が予科練に入隊した時の苦労話、そして多くの人たちから健康に関する話が聞かれました。

皆様も米寿になり90歳を超えた人も多く、また出席者も減りましたので平成2年より毎年行われた同期会も今回限りとするか提案がありました。一応来年も行うことにしました。



横山秀夫 中田和雄  
大木雅也 三井真事  
佐藤益彦 鳥居忠雄  
宇山豊春 望月明  
望月夫人

### 市大同期会だより

#### ◆横浜市立大学「看護」交流会

会長 森 朱輝

「看護」交流会は、現在の横浜市立大学医学部看護学科の前身である横浜市立大学医学部附属看護学校、横浜市立大学看護短期大学部、そして看護学科、医学研究科看護学専攻の学生及び卒業生、教員が会員となり、在校生と卒業生へ支援活動をしております。昨年度は、在校生への支援として「海外フィールドワークへの助成金」「実習前の技術支援」「卒業生によるオフィスアワーの開催」等を実施してきました。また看護学科1年生を対象に「ANAの元客室乗務員による接遇研修」へも協賛しております。

実習前の技術支援やオフィスアワーでは、在校生と卒業生が直接語り合うことができ、笑顔も見られています。単なる資金援助に留まらずこのような交流を図っていくことは本交流会の特徴であり、今後の横浜市立大学の発展には必要不可欠であると感じております。卒業生への支援では例年恒例となっている講演会の開催を実施し、今年度は講演会に志茂田景樹さんをお呼びし、命について本の読み聞かせをして頂く予定となっております。また附属2病院へ新卒入職した卒業生を対象に「ホームカミングデイ」を協賛として検討しており、卒業生への支援もさらに充実させていきたいと思っております。「看護」交流会は母校である横浜市立大学の発展のために尽力していきたいと思っておりますので、先輩である進交会の皆

様におかれましてはご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

#### ◆YBC60周年記念OB会

竹井 啓司 (市大商昭51卒)

昨年の11月5日(土)、市大金沢八景キャンパス・シーガルホールにて、放送研究部の創部60周年記念OB会が、「還暦祭」と題して開催されました。

当日、久しぶりに京浜急行に乗ったら快速特急が金沢八景駅に停車するようになっており、駅前にあった懐かしい店のほとんどが撤去され、再開発工事の真っ最中。キャンパスも旧校舎はほとんど消えて一変され、女子学生の姿が増えるなど、まさに浦島太郎状態で、気のせいもおしゃれな雰囲気になっていました。

10年ぶりの開催ということもあって、遠方から駆けつけたOBも多く、出席者は現役生も含めて65名と大盛況でした。

会は午後2時過ぎより、大沢達男さん(昭43卒)の司会進行で開始。元NHKアナウンサーの田中新吾さん(昭35卒)の開会挨拶の後、第1部は60周年の集大成として、「放送に未来はあるか」というテーマで記念ディベーターが行われました。まず、「放送に未来はない」という立場から松田亮一さん(昭54卒)、



## 百貨店カードのファーストクラス。



タカシマヤ各店にて、ご入会お申し込み受付中。

資料のご請求は  
各店のタカシマヤ カードカウンターまたは  
タカシマヤカード《ゴールド》インフォメーション  
センター (9:00~18:00/1月1日は休み)  
☎0120-720-899 まで  
インターネットでもお申し込みいただけます。

高島屋カード 検索



Takashimaya  
www.takashimaya.co.jp

タカシマヤで、旅先で話題のレストランでお楽しみいただけます。  
華やかなおもてなしをこの1枚にこめて、上質を愛するあなたの毎日へ、新しい感動をお届けいたします。

そして「放送に未来はある」という立場で小田徹さん(昭60卒)がそれぞれ立論しました。

次に、それぞれの立場から次の4人の方から発言がありました。

未来がある・山川光博さん(昭62卒)、

保坂千恵さん(昭62卒)

未来がない・小林紀基さん(昭59卒)、

吉田雅尋さん(昭61卒)

ジャッジの福島輝男さん(昭35卒)、

宮田廣一さん(昭49卒)、阿部美信さん(昭63卒)による協議の結果、「放送」

の定義をラジオ、テレビだけでなく通信という意味でとらえた点で、「放送に未来がある」に軍配が上がりましたが、放送研究部OBにとって、「放送に未来がない」という意見は、最初からハンディを負っていたといえるのかもしれませんが、しかし、いずれの意見も論理的で、しっかりとした準備をされたことが十分にかがえるものでした。

第2部の懇親会は、元NHKアナウンサー久保建司さん(昭38卒)による

乾杯の音頭からスタートしました。現役部員とOBの

自己紹介の後、歓談が弾み、幹事が持ち寄った懐かしい写真のスライド上映をバックに、元NHKアナウンサー飯田忠義さん(昭36卒)による



閉会の挨拶、最後に荒井由美「卒業写真(昭和50年)の合唱をして、午後5時過ぎにお開きとなりました。

◇還暦女子大生から修士一年生へ  
西尾 留美子(市大国際総合29卒)

子どもの大学入学式ではなく自身の横市入学式の日、学生証を渡されるとき「ご本人にしかお渡しできません」と言われ、「あ、本人です」という会話がありました。それを何度か笑い話として使わせていただいています。また友人に「還暦女子大生」というニックネームを与えられ、ノートンキな私は何か世間に通用する高齢大学生になったような気分が嬉しくなったものです。

一年次の共通教養は学部を問わず分けられたクラスで学ぶことになっていて、私にも所属先があり孤立をまぬがれませんでした。家庭では初孫の誕生で勉強どころではない状況でしたがなんとか通い続けました。二年次から滝田ゼミ(滝田祥子研究室)で豊かな経験を積んでいます。メ



キシコへのスタディツアーでは、オリエンテ大学の皆さんと交流しマヤの文化に深く触れることができました。三年次は鶴橋・出雲・広島・対馬への境の町で平和を考えるツアーをゼミ生で企画、実施しました。

四年次は早期履修生度を利用し院生としての学びも加わりました。そして学士を終え、現在修士一年生となりました。六月には人工知能学会による「みらいらぼ つしま」のセッションで発表するという好機を与えられました。このような自身の体験をとおして、高齢者についての研究を生涯学習として進めたいと考えています。

市大だより

◇横浜市立大学の学生数  
(平成29年5月1日現在)

学部	学生数	男子学生数	女子学生数	
国際総合科学部	3,201	1,340	1,861	
医学部	医学科	553	359	194
	看護学科	407	10	397
合計(人)	4,161	1,709	2,452	

大学院	学生数	博士前期	博士後期
研究科			
都市社会文化研究科	61	39	22
国際マネジメント研究科	52	45	7
生命ナノシステム科学研究科	140	115	25
生命医科学研究科	115	89	26
医科学研究科医科学専攻	401	44	357
医学研究科看護学専攻	45	45	
合計(人)	814	377	437

◇数字で見るYCU

- ・留学生数 111人(17カ国・地域)  
(平成29年5月1日現在)
- ・留学・海外研修参加者 616人  
(平成29年3月31日現在)
- ・TOEFL iTP 500点※相当以上の学生 90%
- ・3年次に進級する最低達成水準。  
(平成29年5月1日現在)
- ※TOEIC 600点、英検準1級相当。
- ・就職率 98.7%
- ・平成28年度 国際総合科学部の就職実績  
(全国平均97.6%)
- ・男女比 男子41% 女子59%  
(平成29年5月1日現在 学部生数)。

◇平成30年4月

首都圏発のデータサイエンス学部誕生  
近年、社会の様々な分野で急速に蓄積が進んでいるビッグデータの活用を推進するため、医学・理学・経済学など多様な応用分野を持ち、融合型の教養教育を実践してきた本学の強みを活かし、データから新たな価値を創造するデータサイエンス人材の育成に乗り出します。

●学部概要

- ・学科学名 データサイエンス学科
- ・学位 学士(データサイエンス)
- ・入学定員 60名
- ・収容定員 240名
- ・キャンパス 金沢八景キャンパス
- 取得できる資格  
・中学校教諭一種免許状(数学)、  
・高等学校教諭一種免許状(数学)。



●想定される卒業後の進路  
 金融機関（データコンサルタント、データアナリスト）、IT企業（製品開発、データマイニングエンジニア）、製薬メーカー・大学病院（臨床研究専門家）、公務員（オープンデータに基づくアナリスト）、今はまだ存在していない職業。

◇馬場彰氏(市大商昭33卒)に名誉博士号を授与

平成29年2月16日、馬場彰氏（市大商昭33卒、株式会社オンワードホールディングス名誉顧問）に横浜市立大学名誉博士号を授与しました。

本学では、人類の学術文化の発展と交流に多大な業績を挙げ、教育研究に寄与した功績が顕著であると認められ、本学及び横浜市と関わりが深い方に対し、名誉博士の称号を授与しています。

馬場氏は、実業界での活躍や社会貢献活動による功績が大きいことはもとより、進交会の常務理事・副理事長、後援会の会長として、本学に多くのご支援をいただきました。平成19年には国際総合科学部の授業「ファッションビジネス戦略I」で講師を務められ、平成15年の本学創立75周年記念事業では、寄附募集をけん引し、学生、教職員、地域の方の学修環境の場として活用している「いちちょうの館」の建設に貢献されました。



◇「第5回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」で文部科学大臣賞を受賞!

学生が英語によるプレゼンテーション力を競う「第5回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」(主催：神田外語グループ、読売新聞社)が平成28年12月3日、東京都千代田区のイイノホールで行われました。全国の大学や専門学校149校から、699人が個人やグループで参加。国際総合科学部 国際教養学系3年(当時)の佐藤圭さんが最優秀賞の文部科学大臣賞に選ばれました。



◇「ビジネスプランコンテスト」で最優秀賞受賞!

神奈川県主催の起業家育成を目的としたビジネスプランコンテストが平成29年2月17日にTKPガーデンシティ横浜で開催され、4大学9チームが出場しました。

本学からは学内コンテストを勝ち抜いた芦澤ゼミ(経営管理論)の2チームが出場。起業家支援財団や実際に起業した

経営者などの審査員による厳正な審査の結果、宮本さん・佐藤さんが最優秀賞に、小川さんチームが課題解決賞に輝きました。

【最優秀賞】

国際総合科学部経営学コース2年生(当時)  
 宮本亮平、佐藤将也さん

【課題解決賞】

国際総合科学部経営学コース3年生(当時)  
 小川陽生さん  
 「新興国×現地実践型グローバル人材育成」グローバル人材の不足する中小企業をターゲットに置き、ゼミの海外フィールドワークで関係を構築した新興国フイリピンの企業と共にグローバル人材を育成、供給する仕組みづくりの提案。





### ◆私と加賀友禪の出会い

佐藤 公紀(市大商昭47卒)



今年、横浜高島屋の夏の催事(7月12日~17日、現代の職人展)が開催され、私は加賀友禪を初めて拝見しました。私の場合、そもそも着物を着たのは30数年前に自分の結婚式を挙げた時だけです。前、着物の知識は全くありません。そんな私が加賀友禪を観る為に横浜高島屋に行ったのは、この催事のために大先輩の寺西一紘さんが金沢から横浜に出てこられるのをYCU通信(vol.3)で知ったからです。

私は昨年の11月に進交会北陸支部総会に初めて出席させて頂き、北陸支部の皆様にご挨拶しました。寺西さんも参加され、名刺交換をした程度で、その時は詳しいお話は出来なかつたのです。それから1年も経たないうちに、寺西さんと再会出来ると言うことで、早速連絡を取り、横浜でお会いしました。そして折角の機会でしたので、進交会会報・HP委員長の桑原さんと横浜市大広報室の芥川さんをお誘いして、一緒に「現代の職人展」を拝見することにしました。

桑原さんや芥川さんは以前から関心も高かったようで、加賀友禪の実物を拝見して大変感銘を受けていました。

寺西さんに話を伺うと、最近特に百貨店からの出展要請が多く、全てに出来る事が出来ないで、ご自分で対応可能な

催しを選んでいくとの事でした。ちなみに高島屋の木本社長が横浜市大の卒業生であることをご存知でしたかとお尋ねしたら、その事は知らず、これも奇縁なのかと言うお話でした。

私たちが会場に行ったのは催事の初日でしたが、その後、近くの創作和食店での「寺西さんを囲む懇談会」では、加賀友禪のお話から日本の伝統文化についてのお話まで話題は広がり、楽しい時間を過ごすことができました。

寺西さんいわく、北陸新幹線が開通して金沢が脚光を浴びているので、これを機会に横浜市大の卒業生が金沢で加賀友禪の職人であることを知り、金沢の観光施設、長町友禪館を訪れ、加賀友禪に興味を抱いていたのだとのことです。

横浜市大卒業生の皆さんは勿論のこと、Y校卒業生の皆さんもこれを機会に是非金沢に出掛けていただけたら、進交会会員の交流の輪が広がるのではないのでしょうか！

☆寺西一紘氏(昭39市大商卒)  
石川県金沢市生まれ。加賀友禪作家・伝統工芸士。値ごろながら品格のある新商品「加賀友禪花絵紋訪問着」が評判となり、今年、横浜高島屋の夏の催事(7月12日~17日、現代の職人展)に出展されました。

### ◆市大管弦楽団演奏会を聴く

鳥居 忠雄(Y専昭24卒)

#### ●第47回定期演奏会

クリスマススイルミネーションが輝くみなとみらいホール大ホールで2016年12月26日に横浜市立大学管弦楽団の第17回定期演奏会が行われました。

曲目は

- 1) 歌劇「イーゴリ公」より序曲
- 2) 「ペールギュント」第一組
- 3) 交響曲第6番「悲愴」

今年から指揮者が交代し田尻真高さんが指揮をとりました。演奏者の3年生21名が今回最後の舞台となりました。毎年新人を指導してこの様な立派な定期演奏会を行う事は大変な事です。

進交会からも秋谷理事長をはじめ多数の役員の方々が鑑賞に来られていました。会場は我々古参のOB達と現役の若い人たちが多数入場されて広い会場も満席の状態でした。

これからも団員の皆様も精進されて益々有益な演奏を継続されて欲しいと思います。

#### ●市大管弦楽団スプリングコンサート

5月5日14時より真夏日を思わせる初夏の陽気のもと横浜市立大学スプリングコンサート2017が東京都大田区民ホール・アブリコ大ホールで開催されました。1700名収容の大ホールに1500名位の観客が集い、新年度の2-3年生の初舞台となりました。

曲目はベートーベンの「エグモント」、スメタナの交響詩「我が祖国」第4曲「ボヘミアの森と草原から」の第一部が終わり20分の休憩のあとメンデルスゾーンの交響曲第5番「宗教改革」が演奏されました。指揮は小森康弘さんで国内外の多数のオーケストラを指揮しています。今後の演奏会は第48 回定期演奏会が2017年12月26日(火)に「ミュージア川崎シンフォニーホール」で佐々木新平

さんの指揮で行われる予定です。例年のクリスマススイブの演奏会を皆で楽しみましょう

**進交会囲碁クラブからのお知らせ**  
当クラブは現在、登録会員数45名で、毎週2回の定例には20~30名の方々が参加して囲碁の手合いを楽しんで居ります。来年1月以降、碁会開催場所の進交会館5F会議室が使用出来なくなりませんが、他場所(横浜市内の碁会所等)を確保して、定例碁会を継続する予定です。従って、会員募集も継続致します。尚、碁会開催場所につきましては、本年10月中旬に具体的に決定する予定です。お問い合わせ先・進交会事務局 045-68116575 事務局から当クラブ幹事に繋いで貰います。

**総合ビル管理会社**  
**横浜建物管理株式会社**  
代表取締役 **東海林周平**  
〒231-0002  
横浜市中区海岸通3丁目9番地  
TEL 045(201)6888  
FAX 045(212)3008

市大部活動だより  
 ◇【ハンドボール部】  
 菅尾 一樹 (市大総3年)



横浜市立大学  
 ハンドボール部  
 は、今年で創部  
 46年になります。  
 現在、男子が関  
 東学生ハンドボ  
 ール7部リーグ、  
 女子が2部Bリ  
 ーグに所属して  
 います。市大体  
 育館の2階アリ  
 ーナで週3回の  
 練習を行って  
 います。先日1年  
 生が15人入部し  
 て、2年生13人

3年生12人、4年生14人、全体で54人の  
 大所帯になりました。活気のある充実し  
 た練習ができています。  
 残念ながら男女共に春季リーグでの昇  
 格は果たせませんでした。特に女子は、  
 春季リーグで昇格まであと1勝というと  
 ころで負けてしまい悔しい結果となりま  
 した。以下、今年度の戦績です。  
 ○今年度の戦績  
 ・春季リーグ (4月16日～5月20日)  
 男子7部 3位 (3勝2敗)  
 女子2部B 2位 (4勝1敗1分)  
 ・首都大学東京定期戦 (6月4日)  
 対首都大学東京 ●23-31  
 現在、1ヵ月後にせまった秋季リーグ

に向けて練習に励んでいます。男子は6  
 部昇格、女子  
 は2部Aへの  
 昇格がチーム  
 の目標です。  
 秋に良いご報  
 告ができるよ  
 う男女共に健  
 闘します！応  
 援よろしくお  
 願いします！



◇【剣道部】



現在、剣道部の部  
 員は少なめですが、  
 日々の稽古を真剣に  
 行い個々の技量向上  
 目標達成に向け楽し  
 く活動しています。  
 最近、剣道の稽古  
 だけでなく剣道の上  
 達に繋がるトレーニングを取り入れるな  
 ど、楽しみながら試行錯誤しています。  
 剣道部には50年以上の歴史があります。  
 そのため、沢山のOBOGの方々との交  
 流があり、繋がりが強く様々な面で協力  
 と援助をいただいています。また、  
 2017年春に新監督を迎え、月に一度  
 O Bの先輩方との合同稽古および練習試  
 合を行うなど、O Bとの繋がりを利用し  
 て、活動はますます活発になっていま  
 す。この波に乗り、結果を残して剣道部の発  
 展を確かなものにしていきます。

◇【混声合唱団】

当団は1961年に横浜市内の音楽  
 協会傘下から独立し、2011年6月に



最後にありますが、「今の時代、今の  
 私たちには出来ない演奏」を心がけ、  
 これからも活動して参りますのでO B O  
 Gの皆様におきま  
 しても、温かく見  
 守っていただけま  
 すと幸いです。ござ  
 います。  
 混声合唱団 定期  
 演奏会  
 日時：平成29年  
 12月24日(日)  
 場所：鎌倉芸術館  
 大ホール  
 曲目：信長貴富委  
 嘱曲 ほか  
 指揮：藤井宏樹  
 大越彩花

創団50周年を迎えました。さらに同年、  
 藤井宏樹氏を音楽監督・常任指揮者とし  
 て迎え、現在では団員は40人程度にま  
 で増加し、「学生にしかできない合唱活  
 動」をモットーに活動しております。大  
 学からいただくお仕事(入学式や卒業式  
 などでの演奏)の他に、6月に関東近郊  
 5大学が開催するMaris stella Concert  
 と12月の定期演奏会を活動の軸としてお  
 ります。  
 今年は、記念すべき第50回記念定期演  
 奏会を12月24日に開催する運びとなり、  
 大人気の作曲家信長貴富先生に委嘱曲  
 を依頼しOBOGさんとの合同ステージ  
 にて演奏いたします。皆様お誘いあわせ  
 のうえご来場くださいませ。

◇SNS

横浜市立大学では、卒業生のみなさま  
 にSNS(ソーシャルネットワークサー  
 ビス)を利用して大学情報をお届けして  
 います。ぜひチェックしてみてください。

横浜市立大学卒業生担当  
 facebook ページ

大学・キャンパス・金沢八景の「いま」、  
 卒業生・在学生の活躍など、卒業生のみなさまが  
 「いいね!」と思う情報を発信してまいります。  
 ぜひチェックしてみてください!

facebookを開いて、  
 「横浜市立大学卒業生担当」  
 と検索してください!

<http://www.facebook.com/YCU.alumni>

第15回横浜市大同窓会のお知らせ  
 日時 平成29年11月4日(土)  
 受付 午後14時  
 開会 午後15時～17時ごろ閉会予定  
 場所 金沢八景キャンパス  
 シーガルセンター1階食堂  
 (詳細は同封のチラシをご覧ください)

# 11/4 土 ホームカミングデー

時間：12:00-14:50 (11:00受付開始) 会場：カメラアホール

卒業生以外の方も  
ご参加いただけます！



今年も浜大祭期間中にホームカミングデーを開催します！  
三枝博音 第4代学長が校長を務めた戦後の自由大学「鎌倉アカデミア」のドキュメンタリー映画を特別上映。上映後に大嶋監督・高橋教授（現代教育論）・本宮教授（日本社会史）によるトークセッションを行います。  
ぜひご家族やご友人と大学に足をお運びください！

## プログラム

- 11:00 受付開始
  - 12:00 開演（学長挨拶・応援団演舞）
  - 12:15 映画上映『鎌倉アカデミア 青の時代』
  - 14:20 トークセッション
- 大嶋 拓 監督 ＊ 高橋 寛人 教授 ＊ 本宮 一男 教授

## 参加無料 要申込

※お申込みは下記連絡先までご連絡ください。  
※当日申込も受け付けますが、席数の都合上、ご入場いただけない場合もございます。

横浜市立大学 広報室 卒業生担当 Tel 045-787-2447 Mail obog@yokohama-cu.ac.jp

**【Second Wind Jazz Orchestra】**  
第44回定期演奏会  
日時：平成29年12月25日（月）  
開場16時、開演16時30分  
会場：横浜市南公会堂（市営地下鉄「阪東橋」駅徒歩約8分）  
京浜急行「黄金町駅」駅徒歩約14分

曲目  
1部：Regular Band（3年生）  
2部：Junior Band（1、2年生）  
3部：F Grade Band (OB,OG)  
4部：Regular Band

**【混声合唱団】**  
第50回記念定期演奏会  
日時：平成29年12月24日（日）  
場所：鎌倉芸術館大ホール  
曲目：信長貴富委囀曲 ほか  
指揮：藤井宏樹 大越彩花

**【管弦楽団】**  
管弦楽団第48回定期演奏会  
日時：平成29年12月26日（火）夜公演  
場所：ミューザ川崎 シンフォニーホール

曲目：D. ショスタコヴィチ／交響曲第五番  
P. チャイコフスキー／幻想序曲「テンペスト」  
A. ボロディン／交響詩「中央アジアの草原にて」  
指揮：佐々木新平

**【第67回浜大祭】金沢八景キャンパス**  
開催日：11月3日(金)～11月5日(日)  
時間：10:00～20:00 (3日(金)のみ18:00まで)  
場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス  
問合せ：第67回浜大祭実行委員会 (サークルA棟1F 学祭室) 045-785-1330

**【Yokohama Medical Festival 2017】福浦キャンパス**  
開催日：11月11日(土)～11月12日(日)  
時間：10:00～20:00  
場所：横浜市立大学福浦キャンパス  
問合せ：横浜市立大学 福浦キャンパス学務・教務課 045-787-2512

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

**株式会社 横濱屋**

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー
- 業務スーパー

〒232-0016  
横浜市南区宮元町4丁目9番地 TEL 045(741)4747

# Y校だより

## ◆着任のご挨拶

副校長 高橋 司

四月に山崎の後任としてみなと総合高等学校から着任いたしました。Y校では、教員時代合計で二十二年間勤務しており、また、三十数年前には本校を卒業しました。

三年ぶりに母校に戻ってみると、学習や部活動に真摯に取り組み、相変わらずさわやかな挨拶をしてくれる生徒が多いことがわかります。まさに、良き伝統が綿々と引き継がれており、大変うれしく思っています。

将来が読めない中、柔軟さが必要とされる現代を生き抜いていく生徒を育てるためには、現状に安易に満足することなく、より良いものに変えていく教育を行わなければなりません。そのために微力ではありますが、日々研鑽を重ね精一杯努力をしていますが日々研鑽を重ね精一杯努力をしたいと思います。今後ともご指導およびご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## ◆商業科の近況について

商業科主任 加藤 佳嗣

生徒達は様々な検定試験に積極的にチャレンジしており、日々の学習の成果を検定試験合格という形で証明しています。平成28年度の卒業生を例にとれば、一人で経済産業省基本情報技術者試験とITパスポート試験の両方に合格した生徒がいます。また、一人で日商簿記検定一級

合格に加え、全商会計実務検定全三科目合格(財務諸表分析・財務会計・管理会計)、および全商商業経済検定全五科目合格(ビジネス基礎・マーケティング・経済活動と法・ビジネス経済A・ビジネス経済B)、さらに全商検定一級五種目合格を果した生徒がいます。他の生徒も全商検定一級六種目合格四名を筆頭に三種目以上の合格者が37名います。このように検定合格という目標が学ぶ楽しさや意欲、達成感に繋がり、確実に次のステップへと向上心が育まれていると考えています。

こうした商業教育の柱の一つとしての高度な資格取得と同時に、商業科では地域との連携を図り地域貢献し活躍できる人材を育成することをもう一つの柱として、商業の魅力と専門性をさらに高めていこうとする取組を「課題研究」で行っていますので、その一端を紹介します。

「ドンドン商店街復活計画」は、Y校生のアイデアで地元商店街の活気を取り戻そうというプロジェクトであり、インタビューやアンケートによる市場調査に基づきウェブページ作成やポスター、



ドンドン商店会協同組合長との会議



株式会社丸加社長へのプレゼン

ポイントカード、商店街マップの作成に取り組んでいます。

また「横浜のスカーフの商品化を目指すプロジェクト」は、株式会社丸加と連携し二年目になります。昨年度はSCARFの各アルファベットから始まる横浜の観光スポットをデザインしたスカーフの企画を提案しましたが商品化には至らず、ビジネスとして商品開発をすることの難しさと厳しさを生徒達は体験しました。今年度は製造過程で生じる仕損品を活用したスカーフの小物の商品開発を進めています。

「YOKOHAMA HATSUプロジェクト」は、国の「観光先進国」推進に貢献できる人材を育てることを目標としています。具体的には、横浜の観光をテーマとして外国人観光客を横浜へ誘致する方策を考え実践するプロジェクトです。そこで株式会社JTBCコーポレートセールの方による講義や、東洋大学と連携し観光学のゼミへの参加やベルギーの大学からの留学生へのおもてなしの実践を通じて、このプロジェクトを推進するにあたり必要となる観光についての専門知識や心構えを学んでいます。

今後はこうした活きた商業教育の実践を積み重ね、Y校商業科の魅力を発信していきたいと考えています。



ベルギーの留学生へのおもてなし実践

## ◆商業科 スポーツマネジメントについて

スポーツマネジメント科主任 西岡 健一

昨年度の取り組みを一つご紹介します。毎年一月に一年生が中心となって行っているスポーツゴミ拾い大会(今回からスポGOMI大会に改名)で、新たな取り



組みに挑戦しました。区民のみなさまが東京オリンピック・パラリンピックに興味を持ち、明るく健康な街づくりのきっかけになるようなイベントと一緒に考えていきたいと、開設当初から横浜市南区地域振興課に声をかけていただいていた。また、横浜市教育委員会の取り組みとして昨年からは「はまっ子未来カンパニープロジェクト」に参加し、中区に本社を構える株式会社ファンケルに健康イベントの企画という観点から様々なものを提供していただくことができました。その結果一月十四日(土)に三学年が一日かけて行うYSMデーを実施することになりました。Y校スポーツマネジメント科の生徒がスポーツを通じて横浜を元気にする「Yokohama Smile Movement」という意味も込められています。

午前中は第三回スポGOMI大会ですが、例年と違い、午後からのイベントに絡めて、二年生の数名が車椅子を利用して選手として参加しました。普段何気なく暮らしている街に、車椅子利用者が不便だと感じる場所がないかを探ることが目的でした。

午後からは、講堂で講演会。ロンドンパラリンピック等で車椅子マラソンのコーチを務めた小山良隆氏に「パラリンピックを理解し2020年の東京大会に向けて共に一歩前に進もう！」というテーマで講演していただきました。第二部はリオデジャネイロパラリンピックのウィルチェアアラグビーで銅メダルを獲得した若山英史氏、山口貴久氏に「ウィルチェア

アラグビーの魅力と楽しさを通してパラスポーツを伝えたい！」というテーマで講演していただきました。また体育館では、元ソウルパラリンピック日本代表で、現在横浜ラポールに勤務されている伊藤俊之氏による指導の下、車椅子バスケットボールを中心とした体験会が行われました。参加者からは「パラスポーツをもっと見てみたい。またこのようなイベントがあれば参加したい。テレビで見ただけではわからないことが聞けておもしろかった。パラリンピックの意義を理解する事ができた。横浜ラポールに行ってみようと思う。」などの感想が聞かれました。また、運営した生徒は、普段の生活で体の不自由な人が困っていたら自分から声をかけ、できることを私たち健常者がするべきだということを発信していこうと思った。」などの感想を述べていました。

今回のイベントを通して、スポーツマネジメント科の生徒が、心のバリアフリーの実践、発信を率先して行ってくれることを確信しています。続いて、今年の三月に一期生が卒業しましたので概要をご報告いたします。

- 〈進学・就職状況〉
- ・ 四年制大学 24名
  - ・ 短期大学 1名
  - ・ 専門学校 5名
  - ・ 就職 4名
  - ・ 公務員 3名
  - ・ 留学 2名
- 〈進学先の系統〉
- ・ 体育・トレーナー系 15名

- ・ 経済・経営系 7名
  - ・ 医療・栄養系 6名
  - ・ 幼児教育系 2名
- 〈進学者の受験方法〉
- ・ 一般受験 10名
  - ・ 指定校推薦 8名
  - ・ AO入試 8名
  - ・ 公募制推薦 2名
  - ・ スポーツ推薦 2名



◆ 国際学科の近況  
 国際学科が本校に設置されて十五年目となりました。開設に携わった職員から話を聞くと、何か月もかけて将来を見据

えた教育内容について夜遅くまで議論したことが、今もご自身の教育活動の支えとなっているとのこと。国際学科の目標でもある「国際感覚」「問題解決能力」「異文化間コミュニケーション(英語)」という3つの力の育成を二十一世紀に必要なスキルと考え、国際学科を単立した生徒が国を超えて活躍している姿を想像して設定したそうです。

今後は、時代の変化に対応すべく、教員も生徒と一緒に進化、成長していくべきと考えております。これまでのように文武両道だけではなく、校外での活動(ボランティア等)の地域との交流を通して、生徒のモチベーションがアップできるような取り組みをすることで、学校の豊かな教育活動につながると信じて邁進していきたいです。

カナダでの姉妹校交流について紹介します。交流の最終日に、ブリティッシュコロンビア大学敷地内にある日本庭園を訪れました。新渡戸稲造が書いた「武士道」を引用し、「Y校生にも日本と外国の思想の橋渡しとなつてほしい。」と、生徒に語ってもらいました。

交流事業の重要性の一つに、日本人の習慣や考え方を整理し伝えることを大切にしていきます。その中で異文化理解の前に自文化理解をすることや正確に外国の方に伝えることの大切に参加した生徒は気づきます。

Y校ホームページでも国際学科の近況報告をしておりますので、ご覧下さい。

Y校部活動だより

☆ボート部インターハイ3位

顧問 會田 尚貴(Y平24卒)

過日、平成29年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が8月3日

(木)〜6日(日)長沼ボート場において開催され、女子舵手つきクオドルプル(5人乗りの種目)が3位となりました。嬉しさいっぱい!と言いたるところなのですが、選手たちの目には悔し涙が浮かびました。昭和36年以来のインターハイ優勝を目指して日々の練習を積み重ねてまいりましたが、表彰台のつべんとというのは本当に遠いところなのだ実感しました。

このような場で、いつもと違う選手たちの表情や感情に間近で触れることができたとき、私は幸せ者だと感じます。勝った選手、負けた選手。現場では選手さまざまな表情、感情と接します。一つの目標に向けて、厳しい練習をともに乗り越えてきたからこそ、その感情に共感できるのだと感じます。

そして、1、2年生の新人選手たちを来年この場に連れていきたい、というモチベーションが次へつながります。

このインターハイを通じて感じたことは、技術だけではなく競技に対する「熱」をいかに



に次世代の選手たちに残していくか、そしてそれを指導者と選手が信じて練習することができるかが、インターハイ優勝に必要なことなのだ実感しました。

Y校同期会だより

◇旧校舎で最後の入学生、現校舎で最初の卒業生(第100期生) 同窓会

平成28年10月30日(日)新横浜国際ホテルにて、母校卒業「30年の節目」を記念し、Y校第100期(昭和62年卒)同窓会を総勢200名が出席のもと盛大に開催しました。

第100期生は、旧校舎で最後の入学生、現校舎で最初の卒業生であり、母校Y校への思いも大変強い学年です。幹事としても参加者の出欠確認・会場準備などに前日まで苦慮しました。しかし当日になれば、30年前の記憶があつと言う間に思い出され、昔話に皆盛り上がりつきました。今回ご参加いただいた先生方4名も大変お元気で、欠席ではありましたが久保先生・粕谷先生にもビデオレターをいただき大変盛大な宴となりました。

Y校吹奏楽部OBバンドの皆様もご出演を快諾いただき誠にありがとうございました。今回の同窓会を機に同期の結束が更に強まったかと思えます。次回開催が何年後になるかわかりませんが、皆元気な姿で再会したいと思えます。

進交会事務局にも今回の開催にあたりお力添えを賜り誠にありがとうございます。



【幹事】佐藤勝、豊國賢二、山崎学、山崎浩貴、五十嵐誠二、青木一郎、渡辺美也子、渡邊哲也、福本桂子、山口優子、加勢陽子、森茂治(敬称略・順不同)

Y 校 祭

テ — マ: 『光輝くY校祭!! ~YYはじけろ!~』  
日 程: 10月28日(土) 10:00~16:00  
10月29日(日) 10:00~15:00  
場 所: Y校校舎・グラウンド  
招待試合: 硬式野球部 10月29日 11:00~  
対戦相手 日大高校

期間中、Y校会主催のOBルームが開設されます!

◇三八会四組河本クラス同窓会

宮下 和光(Y昭38卒)

今年3年ぶりのクラス会であった。4月4日(火)午前10時30分南太田駅に21名の男女が降り立った。今日は大変荒れ模様の天気になる様子、東京靖国神社の標本木の桜が満開を迎えた本日、まだ横浜は一分か二分咲きであった。母校を訪ね、裏の大岡川沿いの桜を見物、そこから蒔田の松島旅館での会が今日の段取りだ。まず、明日は入学式というY校へ向かう。前もって幹事が連絡してあったので、某先生の案内で校舎内を見学。54年ぶりに来校した人、Yの字の校舎になったのも知らない人、懐かしい、変わったな「面影がない」との声が、しかし美澤先生の像を見ると「ああ懐か



しい」とY校生時代の思い出に耽る人もいた。大岡川に遊覧船も出ていたが今ひとつの風景であった。

会は現地集合の2名が加わり、合計23名の参加となった。会は、恒例の幹事挨拶の後、「黙祷」を行なった。前回のクラス会から今回の開催まで3人が物故者となり、なんと物故者は12名となつてしまった。入学時52名でスタートした我クラスは、住所不明者4名、今日の参加者23名、欠席者13名、計40名の仲間となつてしまった。

次は懇親会に移り、飲みや飲みやの歓談と一人ひとりの近況報告を行い、今後は、今年73歳を考慮し、クラス会を毎年1回とする事を確認し、幹事を決めて校歌の合唱・エールを送り終了した。そして無事1年後の再会を望み散会した。

### ◆Y校昭17年卒、92歳の同期会

関塚 貞亨 (Y昭17卒)

6月1日午後1時から進交会館で同期会を開いた。Y校56期生は92歳になり、同期生250人のうち故人となった者も多いが、当日元気に出席したのは僅かに4人であった。

昨年の同期会には6人が出席したが、常連だった静岡在住の大久保君が体調を崩して欠席となり、植松君は先約があったため寂しい同期会になった。出席者のひとりが「もう今年で打ち切りにするか」と提案したが、2人が「来年も生きていたら会いたい」と言い、同期会を存続することが決まった。

我々56期生の大部分はサラリーマンであったが、異色の人が数人いる。そのうちの1人で2013年に横浜文学賞を受賞した詩人の平林敏彦君から「体調から欠席するが、同期会が続いているのは奇跡に近い」という便りとともに自作の詩を掲載した雑誌が送られてきたので披露することができた。

また学年の後半に太平洋戦争が始まり、軍施設の勤労働員もあり、Y校の開校以来の伝統である英語教育も廃止となったが、それでも優れた教育者が3人も出たのもまた奇跡であろう。宮澤健一君は一橋大学の学長となったし、宇南山英夫くんは横浜市大の商学部長、



前列左から「道明栄齋、岡深也」  
後列左から「関塚貞亨、長谷部信彦」

河田瑞穂君は京都の明徳の校長となり、算盤日本一となった。三人とも成績優秀であったが、学年一番ではなく、その後の精進によるものであろう。

公務員になった者もいるが、特に小池国三君は横浜市の交通局長を務めあげた後市監査委員になった。また布川悌次君は医者の方に進み、内科医院を開業して同期生の数人は世話になっていく。来年も6月に同期会を開催することになったが、体調が回復されて出席者がさらに増えることを期待したい。

世話役の〒2210852 横浜市神奈川区三ツ沢下町9番14号 関塚貞亨まで連絡を待っている。

### ◆第5回同期会「喜寿を祝う会」を開催

「Y校33会」代表幹事 長瀬 哲朗

昭和33年Y校卒・第71期生の同期会である「Y校33会」は、13年前に発足し、同期会を3年毎に開催して来ました。第5回目は4年ぶりに「喜寿を祝う会」を開催する事になり、平成28年10月27日(木)12時～15時、横浜ロイヤルパークホテルの宴会場「オーロラ」(ランドマークタワー展望台の1階上の70階)に、総勢109名が参集しました。

第一部(会食2時間)は、1～8組のクラスを中心に着席して、代表挨拶・祝電披露・乾杯・近況報告などを行った後、校歌を斉唱し、10分間の休憩の間に、席の入れ替えを自由(部活中心のテーブルもあり)に行いました。

第二部(ティータイム1時間)では、

Y校会や33同好会などの活動報告が行われ、あつという間に3時間が過ぎてしまいました。

折りしも、来日中の比ドゥテルテ大統領を囲む昼食会(ホストは林横浜市長)が、同じ階にあるもう一つの宴会場「レインボー」で、私達の会食時間とほぼ同時刻に行われていました。入口が同じということもあって、厳重な警備体制が敷かれた中での開催といったエピソードもあり、大変盛り上がりました。



### ◆Y校72期5組クラス会

会長 平山 勝 (Y昭34卒)

平成28年10月20日(木)、今年も桜木町駅前ワシントンホテルにて、女性10名、男性9名の参加を得て開催しました。幹

事の三島君が欠席の為、残る城田、鈴木(千)、高橋さんがいつもの通り、会場の設定から2次会の案内まで総て取り進めて下さり、感謝に堪えません。

出席メンバーは残念ながらやや固定化されている感がありますが、色平さんが8年ぶりに元気な姿で出席され、60年も昔の北海道修学旅行の思い出の歌を披露してくれました。それが定山溪温泉観光の際、バスガイドさんが歌った「定山溪音頭」という歌でした。私など歌も温泉も全く記憶から欠落しているのに、よくぞ憶えているものだと、只々感嘆させられるばかりでした。

Y校時代の思い出や健康問題などなど話は尽きず、都合のつく方達で桜木町駅下の「WINE HALL」へ場所を移しました。そして、12時半開始の本会は、5時過ぎに散会となりました。

来年は大半の方が満77歳の喜寿を迎えますので、幹事さんは大勢の方々に共にお祝いをしたいと企画を考へております。皆様の出席をお待ちしております。



◆ 恩師 藤田彰三先生をお迎えして

Y校の教室で、あの緊張感をもう一度

安川 栄一 (Y昭44卒)

今回のクラス会は趣向を変え、平成29年4月15日(土)、7組・8組合同(参加者23名)でY校の教室を借用し、藤田彰三先生に当時の授業の再現をお願いしました。しかし、藤田先生も高齢となりがすがにパワー不足は否めず、当時、机と机の間を歩き回る先生にビシビシ指名された時の、我々のあの緊張感・恐怖感の再現は叶いませんでした。それでも机に向かい椅子に座り教壇の藤田先生を拝見しているだけで、やはりあの英語の授業を思い起こしY校時代の懐かしさに浸ることができました。

授業終了後は蒔田駅そばの『太田屋』(蕎麦)にていつものクラス会。思い出話に花を咲かせ、藤田先生の長寿と再会を祈念して解散となりました。



◆ 昭和四十七年卒8組クラス会開催

武田 満明 (Y昭47卒)

去る七月三十日、本年三回目のクラス会を、同期の平尾さんのお店、元町の「ひら」で開催しました。

毎回のことですが、名幹事役の下村君のお蔭で、美味しいお料理を楽しみながら近況報告や昔話に楽しいひと時を過ごしました。当日の参加者は、永井先生はじめ淡路君ご夫妻、内海君、織茂君、川島君、下村君、沼崎君、吉田(正)君、武田の十名でした。

二年後に予定される六五歳学年同期会開催への意見交換や、進交会館建替への協力依頼、九月に二回目となる宿泊クラス会を、永井先生もご参加いただいて昇仙峡・石和温泉で開催すること、その際には軽井沢在住の小山(矢島)君も参加する予定であることなど、話の尽きることはありませんでした。

また年内に、建替前の進交会館の「みなと倶楽部」にて初めて最後のクラス会を予定していますので、多くの方々のご出席をお待ちしております。

お問い合わせなどありましたら、下村君か武田までご連絡ください。

進交会事務局内Y校会安川さんにご連絡頂いてもわかるようにしておきます。沢山の方のご参加をお待ちしています。



戦後日本の光と影

国民が安心できる国を作ろう!

森下正勝(著)(文芸社) (昭和37年V校卒業硬式野球部)

森下和装工業(株)(畳ふすま業)代表 TEL 045-811-4696

～ あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい～

株式会社 **アイスコ**

**ICECO** フローズン・チルド食品卸

**スーパー生鮮館** スーパー生鮮館TAIGA

**CookieTime** クッキータイム

横浜市泉区新橋町1212番

TEL 045-811-1302 FAX 045-812-1001

# ◆「墨は多彩」

雨宮 さわ子 (紫水) (Y昭27卒)



私がこの道に入りましたのは、神奈川県新聞社のカルチャー教室で水墨画の生徒募集を見たのがきっかけでした。そして周期が3ヶ月となって居ましたので3ヶ月位なら仕事の合間に時間がとれるだろうと申し込みました。結構、熱心に向かいあった3ヶ月でした。でも、そんなに簡単なものではなく、思うようには何もかけませんでした。まず、水に含ませた墨の配分のみで色を出す水墨画の多彩を味わいました。たて棒・横棒と練習の度にその都度色が変わってしまします。口惜しさと、情けなさの格闘の日々が続きました。

ともかく30年どうやら続けてきましたのは饒舌からは程遠く協調性に乏しく一人でコツコツ向かい合うことに向いた性格にあったと思います。和紙と下敷きの入った筒を持ち歩くのを見て「お楽しみね」「良く続きますね」と声をかけられていたのが、自分の中では次第に重圧となり責任となってきました。無形にしろ有形にしろ作り出す重みを味わっており、入賞うんぬんより、自分に納得した作品に仕上がったかどうか今も四苦八苦しております。

年齢を重ねても対峙できるものがあることをこれからも大切に自分を追い込まないようにしながら墨を摺り続けてい

うと思っております。

全日本水墨画秀作展  
会場 六本木 国立新美術館  
平成25年「文部科学大臣賞」受賞  
「奔流」掛け軸  
平成29年「総務大臣賞」受賞  
「凍彩」30号



## Y校OB会だより

### ◆Y校バレーボール部OB会・OG会

中村 亮 (Y昭46卒)

平成28年10月29日(土)この日は、Y校祭の初日でプログラムには後輩の女子バレー部がああ記憶に残るJ校との定期戦が行なわれると聞き、同期の中山君と午前10時にY校で待ち合わせて期待に胸を膨らませて会場へと向かった。しかし会場へ着くとプログラムが変更になっており、バスケットの対外試合に変更されていた。(ショック!)仕方なく、Y校会OBルームで野球部の全国大会(甲子園)の決勝の様様をビデオ鑑賞し、二人で、もしかしたら優勝するかもなんて気持ちを高ぶらせながら。(笑)中山君と

は昭和46年度の卒業生で4年前からこの催しに参加させていただいている。彼は千葉の柏市から私は藤沢の辻堂からの参加である。Y校3年間はほとんど正月を除き、バレー1本の学校生活であったことが一番の良い思い出であり現在の人生の糧となっている。

さて、本日の本番会場「進交会館6階」に午後1時に到着です。すでに諸先輩方は席に着かれておられました。なんと出席者名簿を見ると、昭和21年度卒業生の渋谷先輩、24年度卒業の金子先輩も列席されていらつしやるではないですか。我々がまだ生まれていない頃の卒業生ですよ。そして昨年一昨年も参加されていて皆勤賞ですよ。いずれにしても私は昭和27年生まれですがそれ以前の卒業生が5名も参加され、そのお元気なお姿は今後の人生のお手本だなと同期全員で感動しました。(バレーボールをやっていると長生きできるのかな、そして健康寿命も長いのかな)

乾杯のあと後輩(現役)の話題になりましたが、大変残念なことに男子の活動が数年前から途絶えてしましまして、その再起にかけろ思いの意見が全員から出され、何とか学校及び関係者をお願いしながら男子部の復活を期することになりました。女子については今後の更なる健闘と活躍を祈念し全員から寄付を募り気持ちと高額の志を飯塚先輩、北田先輩を通じてお願いすることとなりました。歓談のなかでは、現役時代の自慢話に花を咲かせましたが、一番盛り上がったのは仕事の現役を退き、その後、体調

を崩され、ガンを克服された3名の方の「健康講話」だったのが印象的でした。最後に「来年もこのメンバーでこの会場でお会いしましょう」を合言葉にして、Y校校歌を全員で熱唱し、記念撮影を終えて、無事解散となりました。



### ◆Y校吹奏楽部OBバンド第24回定期演奏会を開催

Y校吹奏楽部OB会会長・OBバンド団長 島田 章 (Y昭52卒)

平成29年5月7日(日)に第24回定期演奏会を横浜みなとみらいホール大ホールで開催しました。当ホールでの開催はメンバーの長年の夢でしたので、感謝の気持ちでいっぱいでした。演奏も日頃の練習の成果を十分発揮することができ、心配していた来場者数も約600名のご来場をいただき盛会のもと無事終了することができました。Y校会をはじめ

**Y校ボート部 創部120周年記念祝賀会**  
 ～ お祝いと感謝の集い ～ 開催のお知らせ

日時：平成29年12月3日(日) 12:00～15:00  
 会場：ナビオス横浜2F カナール・ルーム  
 (横浜市中区新港2-1-1 TEL 045-633-6002)

Y校ボート部OB・OGの方、お誘いあわせの上ご参加下さい。  
 詳細は・・・ Y校ボート部後援会ホームページ  
 または、高橋行正(昭46年卒)まで  
 電話 090-4933-2601

**第25回定期演奏会のご案内**

・日時 平成30年5月6日(日)  
 ・会場 横浜みなとみらいホール  
 大ホール

【入場無料】  
 詳しくはホームページやTwitter  
 などでお知らせいたします。

め、ご支援いただいた皆様にあらためて御礼申し上げます。  
 来年も同会場での開催です。団員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

**Y校会活動報告**

Y校会事務局 安川 栄一(Y昭44卒)

【Y校会創設20周年を迎えて】

Y校会は平成9年11月22日、渡邊照二氏を初代会長として創設され、今年で20周年を迎えます。Y校会は発足以来Y校会の集い・代表幹事会・校史研究会・宿泊研修会などの会合や事業を重ねてきました。

平成22年に新生Y校会が誕生し、更に裾野を広げ若手を含む多くの会員の参加を最大の目標にしました。そして平成26年度より「組織の拡大」と「母校への積極的支援」を両輪として幅広い活動を行い、平成29年8月現在、正会員数(Y校会費納入者)が532名、内女性会員も148名となり大幅に増員しています。

平成29年11月25日(土)には『Y校会創設20周年記念・Y校会の集い』を企画しており、多数の方にご参加いただき、正会員(Y校会費納入者)1,000名体制の早期確立を目指します。

【Y校会創設20周年記念・Y校会の集い】  
 日時：平成29年11月25日(土)  
 12:00～14:30  
 会場：ローズホテル横浜

【母校への支援活動】  
 Y校旧校舎(3代目)遺構の名称版の設置が完了しました。Y校会では、平成27年11月に横浜市の新市庁舎建設予定地から発掘され、平成28年3月よりY校



投票で『誠の礎(まことのいしずえ)』に決定しました。Y校会では遺構名称版を7月に設置し、Y校校長室にて命名者の生徒を表彰し図書券を贈呈しました。

正門脇に移設・展示されているY校旧校舎遺構の説明銘板を平成28年10月に設置し、Y校生徒会に命名をお願いしていただきましたが、平成29年3月、その名称が生徒による

- 【今年度活動報告】
- ☆3月4日(土) 第7回Y校会講座開催  
 テーマ…『詩について』 聴講者27名
- ☆6月7日(水) 東京社会見学ツアー  
 貨幣博物館・タニタ食堂  
 紙の博物館・聖徳記念館  
 34名参加
- ☆第8回Y校会講座開催  
 テーマ…『出会いの美学』  
 聴講者24名
- ☆7月27日(木) 歌舞伎鑑賞教室を観劇  
 参加者 90名
- ☆8月5日(土) 『Y校会暑気払』開催  
 参加者 63名

- 【今年度行事予定】
- ☆10月21日(土) 第9回Y校会講座開催
- ☆10月28日(土)～29日(日) Y校祭OBルーム開設
- ☆11月25日(土) Y校会創設20周年祝賀会

【Y校会について】  
 Y校会は一般社団法人進交会のY校同窓会部門として、会員相互の研修と親睦を図り母校の発展に寄与する事を目的に平成9年に発足しました。母校Y校を卒業した者をもって構成し、Y校会会費(進交会とは別枠、年間1,000円以上)を納める者を正会員、他を一般会員としています。現在、正会員を募集中です。  
 ☆お問い合わせは  
 Y校会事務局(進交会内)電話045-681-6575 担当 安川 栄一

◇歌舞伎鑑賞勉強会に参加して  
 菊地 富美子(Y昭39卒)  
 7月27日神奈川県青少年ホールで開催された歌舞伎鑑賞勉強会に参加しました。まず、俳優が「歌舞伎のみかた」と今回上演の「一条大藏譚」の見どころの説明をしてくれる。良く通る声と滑舌のよい話し方、背筋のしゃんとした身のこなし方といい、俳優の日頃の鍛錬が窺える。そして、芝居が始まるが、これまでも上演されてきて、様式として決まっているのだから、居並ぶ腰元や役者を配置しながらも、本ホールの狭さを感じさせることなく、広がりを持たせた舞台構成に感心する。  
 芝居中盤に主人公のお出ましとなるが、今回の主人公大藏卿を演ずるのは、市川菊之助だ。幼少の頃から稽古を積んでき

# 進交会だより

ているとはいえ、裏方、義太夫、囃子方たちの中心になり、目の肥えた大向こうをうならさなければならぬのは、並大抵ではない筈。

さておき、若手花形俳優の登場に、観客は拍手大喝采。『待ってました！音羽屋』、平家を欺くための作り阿呆のユーモラスな演技にも又々拍手。

終盤に脚が真の姿になり平家に通じている家老の首をとるおどろおどろしい場面でも、おどけた演出にほっと一息。

そして、又もとの阿呆な大藏卿に戻ったところで、笑い拍手の中で幕。

もうこうなったら、主催者の術中にはまり、歌舞伎座に繰り出そうかと、夢見ていると、チョーンと柵が入りお終い。

## ◆『東京社会見学ツアー』

### 参加記

田村 雅明（Y昭40・市大商44卒）

貨幣博物館、紙の博物館、聖徳記念絵画館を見学し、貨幣や紙の歴史、明治時代のスピードある近代化等、日本の強みを再認識しました。話題のタニタ食堂での昼食は、減塩でも美味しく、バスツアー初参加でしたが、皆さんと親しくお話しができて楽しい一日でした。



## ◆Y校卒業生 漱石と英国で(2)

(桑原 正子 市大文昭41卒)

前号では漱石と田中孝太郎氏との親交を物語るシェイクスピア像について書きました。今号では、近代文学館に寄贈された漱石の手紙について紹介します。

夏目漱石は、ロンドンで同じ下宿だった田中孝太郎氏宛に明治三十五（一九〇二）年二月二日付で手紙を出しました。

孝太郎氏は明治五（一八七二）年横浜生まれ。豪商の家に育ち、昭和二十五（一九五〇）年逝去。孝太郎氏の父が横浜のサミュエル商会に勤めていた関係で、

横浜商法学校（現在の市立横浜商業高校）卒業後、明治三十三年三月貿易実習のため、アメリカに向け横浜を出港、

同十二月にロンドンに移り、漱石と同じブレッド家を下宿にしました。そのため、漱石と親交を深め、

しばしば二人で散歩や観劇を楽しんでいます。孝太郎氏は帰国後、貿易商社田中善合資会社を設立。

明治三十五年の手紙は次のとおり。

（漱石全集 書簡（上）より）

「御分袂後度々御手紙を給はり候処例の無精にてなげやりに致し寔に不相済と深御詫申上候其後は無事御安着の善し奉恭賀候小生如例クラバムに蟄在罷在候乍憚御休神可被下候渡辺君クリスタルガラスの方へ移転被致候只今雪が降つ

て中々寒くあります 早々頓首  
二月二日  
夏目金之助

田中君  
（現代語訳はY校同窓生安川氏による）

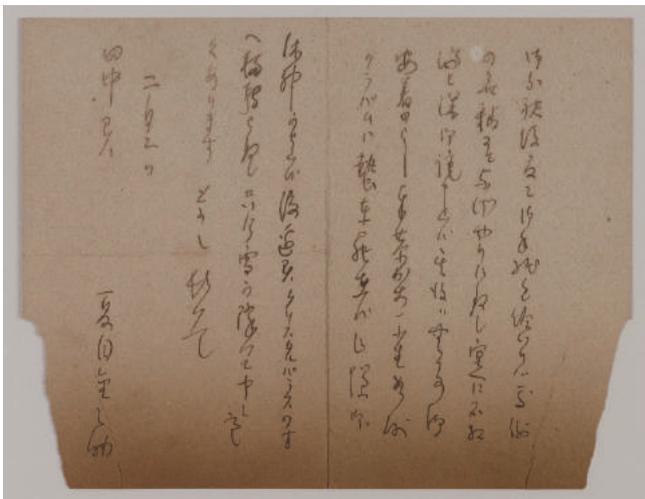
「お付き合いをやめた後もたびたび手紙をいただきましたがご存知のとおり不精にて投げやりに致し誠に申し訳ありません。深くお詫び申し上げます。その後

は無事、ご到着のよしお祝い申し上げます。小生、相変わらぬクラバムで家にもつていたり出掛けたり、気兼ねしながら暮らしていますのでご安心下さい。渡辺君はクリスタルガラスの方へ移転されました。只今、雪が降って大変寒いです。

二月二日  
夏目金之助

田中君  
漱石のロンドン時代は「もつとも不快の二年」（文学論より）。鏡子夫人宛

快の二年」（文学論より）。鏡子夫人宛



タテ 17.5 cm ヨコ 22.5 cm 神奈川県立近代文学館所蔵

に、サミュエル商会にいる人がノンキな男で」と手紙に書いています。孝太郎氏はじめY校卒業生との観劇や散歩、句会等の親交は、漱石にとって心穏やかな日々となったことと推察します。

## リニユーアル募金、ご協力者

（平成28年9月1日～平成29年8月31日）  
リニユーアル募金にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

お陰様で募金額合計は平成29年8月31日現在、11,489,920円（738名）となりました。

（順不同・敬称略）

【80,000円】 弘田 義 （昭32商）

【30,000円】 天野 満 （昭46Y）

【20,000円】 岡田 寛明 （昭29Y普）

荒井 良國 （昭33Y）

中山 雅雄 （昭41Y）

松田 成之 （昭29商）

【10,000円】 一瀬 昭 （旧職員）

金子 秀夫 （昭24Y旧）

田畑 芳一 （昭27Y商）

鈴木（玉木）玲子 （昭30Y普）

町田（巴）皓子 （昭34Y）

原田 武司 （昭35Y）

田辺 芳夫 （昭40Y）

梅田（西山）直子 （昭52Y）

藍田 譲 （昭36商）

【10,000円未満】 西山 幸一郎 （昭51商）

◆事務局だより

昨年度の進交会賞は、平成29年3月16日市大「いちよの館」にて、秋谷理事長から次の12人の学生に授与いたしました。

- 国際総合科学部 国際総合科学科
人間科学コース 外池 玲衣
社会関係論コース 福田 夢実
国際文化コース 酒井 希望
まちづくりコース 横田 侑子
地域政策コース 西脇 功裕
グローバル協力コース 時里 萩子
経営学コース 梶ヶ谷 優輝
会計学コース 丁 暁婷
経済学コース 早川 愉香
物質科学コース 小山 歩美
生命環境コース 芳野 明日香
生命医科学コース 吉田 晴香
医学部 石阪 麻莉
医学科 葉玉 美紀
看護学科

平成29年3月1日のY校卒業式で7名に進交会奨学金、51名に美澤皆勤賞を授与しました。進交会奨学金受賞者は、黒崎怜、杉本瑛介、関駿太、市川倫、佐々木淳也、寺川舞、渡辺遙佳。

叙勲・受章された方々を、新年懇親会で表彰いたしました。(敬称略)

- 平成28年瑞宝小綬章 宇山 豊春
瑞宝小綬章 土肥 勇賢
瑞宝双光章 中根 キク江
横浜文化賞 松永 春

◆活動報告

\*平成28年度一般社団法人進交会社員総会
日時：平成29年5月27日(土)

場所：進交会館5階会議室

出席者：46名(委任状44通)

右記の通り開催し、秋谷理事長、岡田市大副学長、長田Y校校長の挨拶の後、直ちに議事に入りました。

第1号議案の事業報告を、総務・財務委員長の山本常務理事が報告。続いて第2号議案の正味財産増減計算書・貸借対照表を安川事務局員が説明し、在原監事より監査報告がなされ、第1・2号議案とも満場一致で承認されました。次いで第3号議案の新理事追加選任決議も満場一致で承認されました。

また、平成29年5月27日付役職者人事の報告をしました。

※新任理事 (敬称略)
丸山 孝志(市大商昭53卒)

◎新理事長 古屋 文雄(前副理事長)
(Y昭38・市大商43卒)
◎理事 秋谷 淨恵(前理事長)
(市大商35卒)

平成30年度 進交会

新年懇親会のお知らせ

日時 平成30年1月27日(土)
午前11時受付開始、11時半開宴
場所 崎陽軒本店 4階
会費 7000円(予定)

正味財産増減計算書総括表

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月 31日
(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include 経常収益, 経常費用, 当期経常増減額, etc.

貸借対照表総括表

平成29年3月31日現在
(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 一般会計, 特別会計, 美澤基金, 総合計. Rows include 資産の部, 負債の部, 正味財産の部, etc.

訃報

平成29年7月31日までに、逝去の知らせをいただいた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

Table listing names and dates of deceased members, organized in columns. Includes names like 昭和49年 品川栄一, 昭和53年 山下要造, etc.

編集後記

Y校・Y専・市大の在学生や同窓生の交流の場として進交会報第83号をお届けする季節となりました。今年も在学生や同窓生の活躍の様子を掲載しましたので、ぜひ、お読みください。さて、進交会の発展のために、この数年取り組んできました重要課題の一つ、進交会館の建て替えが決まりました。今号の進交会報に「新進交会館建て替え計画について」掲載しました。現在の進交会館建設当時は、年二回、進交会報をお届けしていましたが、工事の進捗状況や新築なった進交会館の竣工記念式等のお祝いの様子も掲載されておりました。現在は、進交会報は年一回の発行ですので、来年一月以降の進交会館の工事中の様子はホームページでご覧下さい。また、進交会の会員相互の交流を活発にできるように、ホームページをリニューアルしました。Y校・Y専・市大それぞれの各支部や部活OB会等で、ホームページをお持ちでしたら、ぜひ、事務局にお知らせください。進交会ホームページとリンクさせることにより、より多くの方にご覧いただけるようにしたいと考えています。末尾となりましたが、寄稿・広告掲載いただきました方々に厚くお礼申し上げます。会報・HP委員長 桑原正子(市大文昭41卒)

物故者慰霊祭 平成29年度は誠に勝手ながら諸般の事情により中止とさせていただきます。ご了承ください。